

生活科調査資料 作成の観点

書名	<div style="display: flex; justify-content: center; gap: 20px;"> ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ </div>	発行者番号 発行者名
項目		
内 容	<p>＜知識及び技能が習得されるようにするための工夫＞</p> <p>○生活上必要な習慣や技能が身に付くように、どのような工夫がされているか。</p> <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞</p> <p>○対象を自分との関わりで捉え、自分自身や自分の生活について考え、表現することができるようにどのような工夫がされているか。</p> <p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞</p> <p>○対象に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしたりしようとする態度を養うために、どのような工夫が見られるか。</p> <p>＜具体的な活動や体験を通して気付きの質を高めるための工夫＞</p> <p>○見る、聞く、触れる、作る、探す、育てる、遊ぶなどして、対象に直接働きかけることができるように、どのような工夫が見られるか。</p> <p>○気付いたことや楽しかったことなどについて、多様な方法（言葉、絵、動作、劇化など）により表現し、考えることができるように、どのような工夫が見られるか。</p> <p>○多様な学習活動（見付ける、比べる、たとえば、試す、見通す、工夫するなど）を行い、気付いたことを基に考えられるよう、どのような工夫が見られるか。</p>	
資 料	<p>○具体的な活動や体験を促すために、どのような資料が提示されているか。</p> <p>○資料の内容及び取り上げ方は、児童の発達の段階から見て無理がないものとなっているか。</p>	
表記・表現	<p>○児童が親しみ、進んで利用したくなるように、どのような工夫がされているか。</p> <p>○児童の発達の段階を考慮した表記・表現になっているか。</p>	
総 括	<p>（全体的な特徴、その他）</p>	

書名 項目	<h1>新しい 生活</h1>	2 東 書
内 容	<p>＜知識及び技能が習得されるようにするための工夫＞</p> <p>○活動に即し、安全やマナーに関する習慣や技能の習得を図れるように「やくそく」、「かつどうべんりてちょう」などの文章や、「手あらい」、「うがい」、「ちゅうい」、「どうぐ」などのマークが配置されている。</p> <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞</p> <p>○児童が思考・判断・表現をしている姿が、挿絵や吹き出し、作品例などで示されている。また、多様な表現活動や交流活動が例示され、児童が気付いたことを表現し、考えることができるように工夫されている。</p> <p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞</p> <p>○意欲や自信をもって対象と関わる姿が写真やイラスト等で配置されている。「できるようになったことをふりかえろう」というページを設け、学習内容を振り返り、生活を豊かにしようとする態度を養う工夫がされている。</p> <p>＜具体的な活動や体験を通して気付きの質を高めるための工夫＞</p> <p>○単元の扉で、単元につながる動機付けを児童の言葉で記載されている。問い掛けの形で示した言葉で、見る、聞く、触れるなど対象に直接働きかける活動へと児童を促すことができるように工夫されている。</p> <p>○表現方法として観察カード、折りたたみ絵本、ICTの活用などの方法が提示されている。ページの右端には、伝える方法や表現するポイントが書かれており、それを基に表現し、考えることができるように工夫されている。</p> <p>○下巻の「学びをふかめる」コーナーでは、児童が思いや願いを実現していく過程で、友達と対話しながら試行錯誤する様子、伝え合いを通して新たな気付きが生まれる様子など、深い学びの具体的な姿が示されている。</p>	
資 料	<p>○上巻末に切り離しても使える「ポケットずかん」が設けられており、実物大の動植物のイラストが掲載されている。</p> <p>○巻末には、生活科で学習する習慣や技能をまとめた「かつどうべんりてちょう」が設けられ、活動に応じて活用できるように工夫されている。</p>	
表記・表現	<p>○単元名や各コーナーが定位置にあり、学習の流れが見やすいように工夫されている。</p> <p>○キャラクターや児童のイラストによって、思考を促すヒントや安全上の留意点が投げかけられている。</p>	
総 括	<p>○大きな写真と活動意欲を高める挿絵が配置されている。挿絵の吹き出しは、習得を図りたい力に沿うような言葉で示されている。</p> <p>○「どきどきわくわく1年生」でスタートカリキュラムを扱い、入学当初の学習を円滑に行えるように工夫されている。</p>	

書名 項目	<h1 style="margin: 0;">たのしい せいかつ</h1>	4 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">大日本</div>
内 容	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫> ○巻末の「がくしゅうどうぐばこ」には、必要な生活習慣の習得が図れるような内容が示されている。「せいかつことば」では、学習を進める上で大切な語彙が具体的に紹介されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○児童の実態に合わせ、多様な方法で表現を楽しむ場面が例示されている。また、交流や伝え合いなどの表現活動により、児童が気づきを共有し、質が高まるように工夫されている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○「がくしゅうどうぐばこ」では、情報収集や伝達的手段などが示されており、対象と意欲的に関わり、学ぶ際の手掛かりとなっている。イラストや写真を用いることで、生活を豊かにしようとする態度を養う工夫がされている。</p> <p><具体的な活動や体験を通して気づきの質を高めるための工夫> ○大きな写真、紙のカメラ、モノトーンの絵などで児童の意欲を高め、具体的な活動へと導く構成がなされている。「がくしゅうどうぐばこ」のコーナーでは、オノマトペ表現などで対象に直接働きかけ、意欲を高められるように工夫されている。 ○表現方法として観察カードやポスター、ICTの活用などの方法が提示されている。表現活動の初めには、伝える対象を明確にし、伝える相手に合わせて表現し、考えることができるように配慮されている。 ○気付いたことを交流する機会を設け、自分の考えを広げ深めていく場面を板書例で示したり、学んだことを実生活に生かしている姿のイラストを示したりすることで、生活を豊かにしようとする態度を養えるように工夫されている。</p>	
資 料	<p>○上下巻末に「がくしゅうどうぐばこ」が設けられ、動植物や道具の使い方などが紹介されている。</p> <p>○上巻の「たんけんカメラ」、下巻の「透明シート」は、児童の発達の段階を踏まえ、興味・関心を高めるように工夫されている。</p>	
表記・表現	<p>○風船マークの中で、具体的な活動のめあてが分かるように工夫されている。</p> <p>○「せいかつことば」では、児童が思いや願いをカードや発表で表現するときを使う言葉が例示されている。</p>	
総 括	<p>○生き生きとした児童の写真や挿絵、学習の記録カードの見本が示され、学習意欲が高まるように工夫されている。</p> <p>○季節に沿った単元の構成で、人・社会・自然を生かした一体的な流れで、上巻「なかよし」から、下巻「はっけん」へと発展させている。</p>	

書名 項目	<h1 style="text-align: center;">しょうがっこう せいかつ</h1>	1 1 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">学 図</div>
内 容	<p>＜知識及び技能が習得されるようにするための工夫＞</p> <p>○「生活科学び方図かん」では、活動の基礎となる内容がまとめてられており、技能の習得が図れるように工夫されている。「ものしりノート」は、学習体験や知識が広がるよう構成されている。</p> <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞</p> <p>○児童の気付きや思いが、様々な方法で表現できるように配慮されている。また、発達の段階に応じた対話の場面が設定され、児童が自分の考えを広げたり深めたりできるように工夫されている。</p> <p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞</p> <p>○「ものしりノート」というノート例を具体的に示すとともに、記録を重視した構成になっている。交流しながら振り返る場面が例示され、自分の心の成長を自覚し、生活を豊かにしようとする態度を養う工夫がされている。</p> <p>＜具体的な活動や体験を通して気付きの質を高めるための工夫＞</p> <p>○単元の扉で児童の楽しそうな活動の様子を大きな写真で掲載し、活動への意欲付けを図れるように工夫されている。各ページ左上に活動の内容を示し、その下の言葉で活動を喚起できるように工夫されている。</p> <p>○表現方法として劇、ペープサート、クイズなどの方法が提示されている。表現方法を知り、多様な表現ができるように配慮されている。巻末の「生活科学び方図かん」では、発達の段階に合わせて表現し、考えることができるように工夫されている。</p> <p>○活動場面から見付けた課題に対し、上巻では、4人グループや個と個の対話、下巻では、他のグループや多くの児童との話合いの場面を掲載し、発達の段階を考慮した対話の場面を設定するように工夫されている。</p>	
資 料	<p>○上下巻末の「生活科学び方図かん」では、学習スキルや安全のページが設けられ、下巻では「試す・見通す」などの具体的な言葉も提示されている。</p> <p>○本文中に「ものしりノート」として、記録やもの作りなどの活動、参考となるページが設けられている。</p>	
表記・表現	<p>○単元が大きく四つの段階に分けて示されており、活動の展開に見通しがもてるように工夫されている。</p> <p>○活動の中で資料が活用しやすいよう、参考となるページが示されている。</p>	
総 括	<p>○「生活科学び方図かん」「生きもの図かん」では、自己評価欄を使って活動を振り返り、学びに向かう力を高められるように工夫されている。</p> <p>○学習体験が広がるように単元の途中に「ものしりノート」が配置され、遊び方や表現方法等が紹介されている。</p>	

書名 項目	<h1>せいかつ</h1>	17 <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">教 出</div>
内 容	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫> ○「学びのポケット」は、生活科と他教科の連携が意識できるような内容になっており、幅広い学習活動が例示されている。本文中に出てくるクイズを通して新しい知識がもてるように工夫されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○思考を組み立てたり、整理したりする活動や、気付きや考えを表現する多様な方法が示されている。また、他者と伝え合ったり、振り返ったりする活動が例示され、児童の自信や意欲を育む工夫がされている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○活動への意欲や自信を表すバロメーター「まんぞくハシゴ」が各単元に設定され、自己評価ができるように工夫されている。「何をかんじたかな」では、カードを具体的に示し、次の活動への意欲につながる工夫がされている。</p> <p><具体的な活動や体験を通して気づきの質を高めるための工夫> ○児童の気付きから学習をスタートし、教師の言葉掛けで課題を見付け、活動できるように構成されている。「ひんと」に、聞く、嗅ぐ、触るなどの活動例を記載し対象に直接働きかけることができるように工夫されている。 ○表現方法として絵地図、新聞、ポスターなどの方法が提示されている。巻末の「学びのポケット」には、自分で考えるときの着眼点や表現するときに参考となる言葉があり、それを基に表現し、考えることができるように工夫されている。 ○思いや考えを整理する活動や思考ツールなどを使ってまとめる活動などが示されている。板書例は、教師が児童の考えをまとめる際、思考の流れが見えるように工夫がされている。</p>	
資 料	<p>○上下巻末に他教科の知識や技能と関連付けた「学びのポケット」が設けられ、生活科での学びと他教科での学びを相互に活用する例が紹介されている。</p> <p>○本文中に「どんぐりクイズ」と「やさいとくだものクイズ」が設けられ、児童の意欲を高めるような工夫がされている。</p>	
表記・ 表現	<p>○簡単な活動のめあてが示されていたり、ヒントコーナーが設けられたりしており、活動しやすいように工夫されている。</p> <p>○キャラクターの言葉で、振り返りのヒントなどが示されている。</p>	
総 括	<p>○活動のねらいが分かりやすいように、ページの上に見出しが配置されたり、生活科で学ぶ力がサイコロの表示で示されたりしている。</p> <p>○「まんぞくハシゴ」で自己評価し、学習したことを振り返ったり、無自覚だった気づきを自覚することができるように工夫されている。</p>	

書名 項目	<h1>せいかつ</h1>	26 <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">信 教</div>
内 容	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫> ○生活上必要な習慣や技能について、地域の特色や実際の行事の写真・絵を掲載し、児童に分かりやすくなるように工夫されている。注意することや大切なことはキャラクターを使って示されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○児童同士の学び合いや情報交換の場が位置付けられ、写真や挿絵の中に示されている。また、児童が自分や友達の生活・成長・地域との関わり方などを振り返る場面が設けられ、学びが深まるように工夫されている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○地域の人々、家族と一緒に活動することや直接体験を重視した構成になっており、繰り返し対象と関わる中で成長を実感できるような振り返りの場面が設けられ、地域の一員としての自覚がもてるような工夫がされている。</p> <p><具体的な活動や体験を通して気付きの質を高めるための工夫> ○地域の自然、人々、行事に直接関わることで、地域のよさが分かるように構成が工夫されている。見開きページに単元を象徴する写真や挿絵を掲載し、活動への意欲を高めることができるよう工夫されている。 ○表現方法として手紙や日記、絵などの方法が提示されている。絵の中の児童が思い思いに活動していることで、様々な方法で表現しようとする意欲を高め、考えることができるように工夫されている。 ○気付いたことについて、更に深く考える働きかけとして、地域の方へインタビューをしたり、昔から伝わる知恵などを教えてもらったりする活動が設定され、地域と学校で連携し、考えを深め、表現できるように配慮されている。</p>	
資 料	<p>○端午の節句、七夕、お正月など、季節の変化と関わりのある地域の行事が掲載されている。</p> <p>○上巻の「いつものばしょ」では同じ場所の春夏秋冬の様子が観音開きのページで紹介されている。</p>	
表記・表現	<p>○季節や伝統行事、伝承遊びに関わる単元では、その様子が切り絵で特徴的に表現されている。</p> <p>○縦書きで表記され、歌、対話、詩、作文などが掲載されている。</p>	
総 括	<p>○地域に生まれ、地域に育つ児童が、四季を通してその場所に関わることを重視した内容構成となっている。</p> <p>○地域ならではの人・もの・こととの交流や、動植物との継続的な関わりを通して、学びが深められるように工夫されている。</p>	

書名 項目	<h1 style="margin: 0;">せいかつ</h1>	38 <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">光 村</div>
内 容	<p> <知識及び技能が習得されるようにするための工夫> ○「どうすれば」のコーナーで、着目させたいポイントやルールを分かりやすく示すように工夫されている。「？」マークやイラストの吹き出しなどで、自ら進んで技能を習得できるように工夫されている。 </p> <p> <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○発達の段階や活動内容に合った多様な表現方法が示され、巻末資料にも掲載されている。また、児童が試行錯誤する活動や、体験活動と表現活動を繰り返しながら学習する活動が示され、気付きの質が高まるように工夫されている。 </p> <p> <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○各単元が「ホップ（導入）」、「ステップ（展開）」、「ジャンプ（振り返り）」の3段階で構成されており、目的意識をもって自ら働きかけ、意欲をもって学び、日常生活の中で学びを生かすことができるような工夫がされている。 </p> <p> <具体的な活動や体験を通して気付きの質を高めるための工夫> ○児童の活動の様子を写真で掲載し、活動への意欲付けを図っている。吹き出しの言葉で児童を次の活動へ促すように構成されている。種、野菜、球根を実物大の写真で示し、対象に直接働きかけ、意欲を高められるよう工夫されている。 ○表現方法としてポスター、新聞、パンフレットなどの方法が提示されている。巻末の「ひろがるせいかつじてん」には、気付きのポイントや観察の視点、表現方法が紹介されており、意欲的に表現し、考えることができるように工夫されている。 ○試行錯誤する活動や体験と表現を繰り返しながら気付きの質を高められるように工夫されている。また、単元ごとにシールに書いた活動の振り返りで交流する時間が設けられ、より深い学びへとつながるように工夫されている。 </p>	
資 料	<p>○上下巻末の「ひろがるせいかつじてん」では、防災・安全や生活上必要な習慣、体験活動や表現活動の例が紹介されている。</p> <p>○「きせつのおくりもの」のページでは、四季の風景や、動植物の様子などが絵や写真で紹介されている。</p>	
表記・表現	<p>○単元が「ホップ」、「ステップ」、「ジャンプ」の三つに分けられており、活動の流れが分かりやすいように示されている。</p> <p>○「どうすれば」のコーナーで、児童の考えが広がるような工夫がされている。</p>	
総 括	<p>○各単元が「ホップ」、「ステップ」、「ジャンプ」の3段階で構成され、学習の流れやねらいが示されている。</p> <p>○スタートカリキュラムやカリキュラムマネジメントの例が示されており、学びをつなぎ、広げる工夫がされている。</p>	

書名 項目	<h1>せいかつ</h1>	6 1 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">啓林館</div>
内 容	<p> <知識及び技能が習得されるようにするための工夫> ○「がくしゅうずかん」で基本的な学習活動の内容が分かりやすく示すように工夫されている。「できるかなできたかな？」で活動の振り返りをする事で技能の定着が実感できるように工夫されている。 </p> <p> <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○楽しかったことや気付いたことなどを表現する様々な方法が示されている。また、多様な伝え合い活動を例示し、児童が対話によって自分の考えを広げたり深めたりすることで、気付きが高まるように工夫されている。 </p> <p> <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○単元末の「ぐんぐん」では、学習を振り返り、自らの成長や学びの深まりを実感できるような工夫がされている。振り返りの視点を示し、生活へ生かそうとする態度を養うことができるように工夫されている。 </p> <p> <具体的な活動や体験を通して気付きの質を高めるための工夫> ○QRコンテンツで動画、スライド、音声などを視聴することができ、活動への意欲付けを図れるように工夫されている。「わくわくボックス」で児童の心を揺さぶり、対象に直接働きかけることができるように工夫されている。 ○表現方法として歌や付箋、ICTの活用などの方法が提示されている。気付いたことを他教科と関連させたり、付箋で表現したりすることで、次年度以降でも活用し、考えることができるように工夫されている。 ○各単元の最後の「ひろがるきもち」コーナーでは、学習したことを基に生活全般に広げていけるようなヒントが掲載されており、学習するだけでなく、生活に生かしていけるように工夫されている。 </p>	
資 料	<p>○上下巻末に「がくしゅうずかん」が設けられ、学習スキルや安全、道具の使いなどが紹介されている。</p> <p>○幼児教育や中学年以降とのつながりに配慮し、上巻巻頭に「すたあとぶっく」、下巻巻末に「3年生へのステップブック」が設けられている。</p>	
表記・表現	<p>○児童に親しみやすいキャラクターが活動や気付きを広げたり、学習を深めるためのヒントや着眼点が台詞で示されたりしている。</p> <p>○めくり言葉を使って、次の活動への期待がもてるように工夫されている。</p>	
総 括	<p>○生活科の学びのプロセスを考慮し、「わくわく」、「いきいき」、「ぐんぐん」の3段階構成で単元の流れが示されている。</p> <p>○上巻の巻頭には「すたあとぶっく」、下巻の巻末には「3年生へのステップブック」が掲載され、学びの入口と出口が分かりやすい構成になるように工夫されている。</p>	

書名 項目	<h1>わたしと せいかつ</h1>	1 1 6 <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">日 文</div>
内 容	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫> ○「てあらい」「アレルギー」「ちゅうい」などのマークで、活動中に注意すべきことが分かるように工夫されている。「ちえとわざのたからばこ」では、生活科で学習する技能が紹介されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○様々な学習活動の例が、挿絵や写真、吹き出し、作品例などで示されている。また、多様な表現方法や話合いの場面が設けられ、児童が気付きの質を高めながら学びを定着させ、次の課題が見付けられるように工夫されている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○活動の実践例を提示することで、対象に対し意欲や自信をもって学んだり、繰り返し関わってきたりしたことを振り返ることができるような構成になっており、生活を豊かにしようとする態度を養う工夫がされている。</p> <p><具体的な活動や体験を通して気付きの質を高めるための工夫> ○発表やまとめの活動はイラストで表現し、対象に直接働きかける活動は児童目線の写真で掲載することで児童の意欲を喚起し、見る、聞く、触れる、作るなどの活動へつなげることができるように工夫されている。</p> <p>○表現方法としてポスターや動作化、ICTの活用などの方法が提示されている。体験したことや気付いたことを表現するページでは、様々な表現例が見やすく提示されており、児童が意欲的に表現し、考えることができるように配慮されている。</p> <p>○単元の最初と最後に交流する機会を設け、自分の思いを確かにし、友達の意見に刺激を受けることで、学習によって変容した自分に気付いたり、対象とするものとの関わりを深めたりし、気付きの質を高める工夫がされている。</p>	
資 料	<p>○上下巻末に、「ちえとわざのたからばこ」が設けられ、生活や学習で参考となるスキルや安全、生活習慣などについて紹介されている。</p> <p>○各単元に「ポケット図かん」のページがあり、児童が主体的に活動できるように工夫されている。</p>	
表記・表現	<p>○単元が分かりやすいように、シンボルマークと色で見やすく表されている。また、下巻の裏表紙には点字が掲載されている。</p> <p>○キャラクターやマークにより活動を示したり、注意を促したりしている。</p>	
総 括	<p>○上下巻末に、必要な知識及び技能、習慣が学習できる図鑑・資料として「ちえとわざのたからばこ」が掲載されている。</p> <p>○ページの左下に学習のめあてが示され、見通しをもって学習することができるように工夫されている。</p>	

生活科 調査資料 2

○分量について

内容		東書	大日本	学図	教出	信教	光村	啓林館	日文
1 総ページ数 ※ 目録に記載されたページ数	上巻	132	140	134	138	128	149	152	144
	下巻	130	142	122	138	104	109	138	136
2 資料のページ数	上巻	16	25	11	10	0	13	13	19
	下巻	22	31	17	20	0	13	20	23
3 単元数	上巻	9	4	10	10	17	8	9	8
	下巻	9	5	6	7	13	6	8	7

○内容別ページ数について

内容		東書	大日本	学図	教出	信教	光村	啓林館	日文
1 学校と生活	上巻	23	22	24	21	22	25	37	36
	下巻	1	2	1	3	4	0	10	8
2 家庭と生活	上巻	11	6	12	21	5	12	9	10
	下巻	1	0	1	4	0	0	0	0
3 地域と生活	上巻	5	8	5	3	3	4	6	3
	下巻	38	34	21	48	14	29	46	14
4 公共物や公共施設の利用	上巻	10	6	1	1	0	2	3	3
	下巻	11	4	7	6	16	4	11	12
5 季節の変化と生活	上巻	31	32	19	32	61	28	35	22
	下巻	18	18	8	8	18	8	10	24
6 自然や物を使った遊び	上巻	26	32	34	24	31	35	32	48
	下巻	19	18	21	20	16	7	13	25
7 動植物の飼育・栽培	上巻	23	22	37	27	28	27	31	22
	下巻	28	22	40	31	30	31	31	37
8 生活や出来事の伝え合い	上巻	16	13	18	28	13	33	25	27
	下巻	38	30	36	45	11	34	32	41
9 自分の成長	上巻	18	4	8	9	7	18	10	10
	下巻	13	26	17	13	13	17	18	12

○その他

内容		東書	大日本	学図	教出	信教	光村	啓林館	日文
1 公共施設の種類		9	4	5	4	6	6	8	8
2 栽培植物（春蒔き）の種類		18	14	18	17	2	17	12	13
3 栽培植物（秋蒔き）の種類		11	9	8	5	0	14	6	13
4 飼育動物（虫）の種類		8	10	7	7	2	7	10	8
5 飼育動物（水生動物）の種類		3	5	2	3	4	3	5	4
6 飼育動物（小動物）の種類		3	6	5	4	4	5	3	5